



# 地域子育てネットワークだより

令和3年2月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp 電話: (780) 341-7711 (内線 2798)



※地域子育てネットワークだよりは令和3年4月号よりメール配信します

## 子育て応援ネット全県大会 オンライン開催します

開催日：令和3年2月15日(月)  
14:00~16:00



YouTubeにて配信します  
みなさんどうぞご覧下さい!



QRコード

- ◆ 活動事例発表 2団体
  - ・淡路市婦人会(淡路市)
  - ・東灘区連合婦人会(神戸市東灘区)
- ◆ 基調講演  
「あたりまえは」地域の宝  
～みんなでつなげる笑顔の輪～  
講師：中村 経子 氏(臨床心理士、スクールカウンセラー)



家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもを育て見守ることが、ますます必要とされているなか、「子育て応援ネット」の活動事例などを交えながら、**地域の子育て支援をどのように進めていけばよいのか**について、みんなで考えます。



## 「家族の日」Instagramキャンペーン開催中!!

「家族の日」Instagram“@hyogo\_family”では様々なテーマで“これもまた家族”と感じる写真を募集しています。投稿いただいた方の中から**抽選でオリジナルグッズをプレゼント!**奮ってご応募ください!!

募集期間：2月5日(金)～3月15日(月)  
テーマ：「みんなであったかおうちごはん」

応募方法：

- ① “@hyogo\_family” をフォロー
- ② “@hyogo\_family” をタグ付けし、「#これもまた家族」、「#みんなであったかおうちごはん」を付けて投稿
- ③ 当アカウント内で作品が再投稿された時点で応募完了!  
※上記の全てを満たしていない場合は応募完了となりませんのでご注意ください

QRコード



HYOGO\_FAMILY



## 応援ネットの活動紹介



声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します。

丹波篠山市子育て支援連絡会では、毎年、児童虐待防止推進月間に**児童虐待防止研修会**を開催しています。今年度は、丹波篠山市、丹波篠山市民生委員児童委員協議会、丹波篠山市要保護児童対策地域協議会との共催で、「**絶望の子を救え ～米国大学病院での経験を通じて～**」と題して、アイオワ大学病院の小児外科終身教授である木村 健先生より講演をいただきました。

また、構成団体の一つである丹波篠山地区更生保護女性会では、地域の見守り活動や子育てグループ、小学校行事への参加など**地域のつながりを大切にしながら子育て支援**を行っています。

新型コロナウイルスの影響により、従来通りの活動は厳しい状況となっておりますが、**感染予防に配慮しつつ**、今後も支援に取り組んでいきたいと思っております。



丹波篠山市子育て支援連絡会  
会長 長澤 素子



## まちの子育てひろばの紹介



朝来市山東子育て学習センター  
両親教育インストラクター 川見 晶子

朝来市内には、市が運営している子育て学習センターが4箇所あります。その中の『山東子育て学習センター』の活動をご紹介します。

令和2年7月に、**朝来市役所山東庁舎の3階に移転し**、明るくて広々とした場所になり、ハイハイの赤ちゃんも安心して、ゆったり遊べるようになりました。

あそびの広場や開放日の他にも、自主サークル活動や季節の行事などを企画し、毎月おたよりを郵送してお知らせしています。また、講師を招き、**色々な講座や教室**も行っています。最近では、普段お仕事でお子さんとゆっくり過ごせないパパ達にも、センターの企画に参加してもらいたいと思い、**毎月1回(土曜日)に『パパと一緒に出張広場』**を実施し、家族みんなでセンターを利用してもらっています。子育て中の色々な悩みも、専門の相談員さんや、スタッフに相談出来たり、先輩ママ達と情報交換出来たりする場となっています。

利用してくださる方が、**ほっこり楽しんで過ごしてもらえるセンター**でありたいと思っています。



連載  
第150回



## 学校が一斉閉鎖にならないように

県立こども病院名誉院長 中村 肇

新型コロナの感染拡大が続き、ついに緊急事態宣言が出されました。昨年の緊急事態宣言では、学校は一斉に閉鎖され、子どもから教育の機会を奪っただけではなく、屋外活動や社会的交流もできなくなり、**子どもを抑うつ傾向に陥らせ心身に影響を及ぼしました。**

その後の研究から、新型コロナはインフルエンザと異なり、子どもは大人と比べて感染しにくく、感染しても軽症であり、死亡例がほとんどないことが、わかってきました。このような理由から、このたびは小中学校の一斉休校の措置がとられなかったようです。

しかし、最近では、感染の拡大に伴って感染する子どもが増えています。しかも、感染した子どもは、**鼻咽頭や便にウイルスを長期間・大量に排泄し続けている**こともわかってきましたので油断はできません。

クラス内にクラスターが発生しないように、**三密(密閉、密集、密接)を避け、マスク・手洗いをしっかりと守って**ください。

